

## 穂高岳屏風岩 東稜 山行報告

(山城) 北アルプス南部

(コース) 屏風岩東稜

(日時) 6月24日(日)前夜発～6月26日(火)

(天候) 晴れ

(参加者) 松原、前田

(山行タイム)

6月24日(日)

19:00 千葉出発→23:00 沢渡駐車場→車中泊

6月25日(月)

5:00 起床→5:25 タクシー沢渡出発→5:45 上高地バスターミナル→8:30 横尾→11:00T4 尾根取付き→14:15T4 到着→東稜取付き確認→16:40T4 帰着→幕営→20:00 就寝

6月26日(火)

3:00 起床→4:00T4 出発→4:20T2 到着→4:40 東稜登攀開始→9:30 登攀終了→同ルート下降→10:15T2 帰着→10:40T4 帰着→13:10 横尾→16:00 上高地バスターミナル→16:40 沢渡駐車場→帰葉

(山行報告)

今年に入って二度目の無雪期アルパイン、前回の一ノ倉沢衝立岩のダイレクトカンテに引き続き今回も人工のルート、穂高岳屏風岩の東稜を登ってきました。このルートは全ピッチがフリーでも登られているらしく、計画の段階ではフリーで登れそうなグレードのピッチだけはフリーでトライするつもりでした。しかしピッチ目の5.11aにて出だしから全く可能性を見いだせず、フリーの気持ちはなくなり、全ピッチ人工になりました。

この山行の数日後、6月30日に梅雨明けの発表がありました。異常に早い梅雨明けでした。今回の山行は梅雨真っ只中の時期にもかかわらず天気に恵まれて、とてもラッキーだと感じていましたが、この梅雨明け発表により、ラッキーの感覚はやや薄れました。

6月24日(日)

最近私の腰の具合が悪い。原因は日々のストレッチをさぼっていることである。出発前日の土曜日にヨシキスポーツでクライミングの講習会を行ったが、ここで特に具合が悪くなってきてしまった。講習会には前田さんも仕事前に顔を出してくれたので、腰の具合が不安な旨を伝えた。危機感を感じつつ、とりあえず土曜日の夜と日曜日の昼に念入りにストレッチを行った。

出発当日、19:00頃に前田さんと合流して出発。事前のストレッチの甲斐あってか、腰の具合はまあまあである。松本で高速を降りてコンビニに2件寄って買出しを済ませた。23:00頃に沢渡駐車場に着いて、とりあえず乾杯。ちょっと飲んでからまたストレッチ。これ



沢渡駐車場

だけ体を伸ばせばなんとなく安心、となったので心置きなく飲み始める。24：30頃に就寝。

6月25日(月)

5：00頃起床。朝ごはんのサンドイッチを食べながら出発の準備。5：40出発の始発のバスに乗るつもりでバスターミナルへ行ったが、平日は始発が6：10だそう。仕方ないのでタクシーに乗った。仕方ないというのも、先日の移動中～前夜祭で今回の行程について話し、二日間で東稜を一本だけではもったいないので、初日にアプローチ+東稜、二日目に雲稜ルートを登りたいと心変わりしたからである。どちらのルートも同ルート下降できるので途中敗退は容易である。帰りのタクシーを逃さないように二日目の下降開始時間に気をつければ、プランは何通りか想定できる。そんなつもりでいそいそと出発しましたが、結局は当初の計画通りに一日目にアプローチのみ、二日目に東稜を1本のみとなりました。



上高地バスターミナルを出発

ともかく、5：25沢渡をタクシーで出発、5：45上高地バスターミナル到着、準備を整えて6：10出発。急ぎ足で河童橋・小梨平・明神館を通り過ぎ、徳沢園で少し休憩、休憩がてら軽くストレッチ。また急ぎ足で歩き出して、8：30横尾に到着。ここで二日分の水を補給する。事前の打ち合わせでは二人で5リッターの水を汲むはずであった、しかし、なぜか一人ずつ5リッターの水を汲んだ。二人で10リッター。勘違いしているのだが、特に疑いもせずザックにつめてしまった。ザックを背負うと重たいが、こんなものかと思って出発。



渡渉

橋を渡って少し歩くと岩小屋跡、そこから一般道を左に外れてすぐそこにある沢の方へ入る。沢を渡渉する地点は去年に訪れた時と同じ場所を選んだ。去年に訪れた時よりも水量が多く、去年と同じように靴のまま飛び石づたいにはいかず、冷たい水に足を膝上まで入れて苦労して渡った。



1ルンゼから屏風岩

渡渉してから1ルンゼをしばらくつめると雪溪が出てくるが、左岸の露出した草付きを歩く事が出来たので、雪溪の上を歩くことはなかった。雪溪歩きに備えて用意した軽アイゼンとバイルは出番なしでした。雪溪で追加の水を汲み、11：00T4取付きに到着。登攀準備を整えて、11：30T4尾根登攀開始。



T4尾根取付き

昨年の私の記憶からT4尾根で特に苦労した記憶がなく、安易に考えてしまった。

・T4尾根1ピッチ目：前田さんリード

岩は雪溪の雪が離れたばかりで、岩の全体に砂利や石がまん

べんなく乗っていて、非常に登りにくい。足を置く場所はほぼすべて砂と小石でザラザラ、落石を落とさずに登るのは不可能だ。しかもホールドも支点も乏しい、さらに荷物が重たい。よくこんなところリードで登ってくれました、安易なことを言ってすみませんでした。

・T4 尾根 2 ピッチ目：松原リード

出だしすぐで少しかぶっている部分を越えなければならない。ホールドはしっかりしたガバが豊富だが、荷物が重くてかなり厳しい。必死でハングを越えてからもまだまだ厳しい。樹林帯入口でピッチを切る。

・T4 尾根 3～4 ピッチ目

ここは樹林帯を歩くような部分なのだが、スタカットにて進む。ネットの記録ではここをコンテで登っているような人もいたが、途中で怖いような岩の部分もあったのでスタカットでよかった。

・T4 尾根 5 ピッチ目：前田さんリード

最終ピッチ、チムニーである。昨年はここが T4 で一番悪く感じた部分だ。チムニーの抜け口にフィックスロープが設置されており、これをつかんで抜けた。

14：15T4 に到着。重荷の T4 尾根で想定外に手こずってしまい、もうへろへろである。もう本日にクライミングするつもりはない。一休みしてから東稜の取付き確認へ向かう。雲稜の取付きからロープを出して、前田さんに確保してもらって右へトラバースしてみた。途中で、ビレイ中の前田さんがもっと下の草付きに踏み跡を見つけたので引き返した。踏み跡の始点は T4 尾根終点の木に巻かれたビレイ(下降)点。ここで前田さんにビレイしてもらって踏み跡をたどる。途中で Fix ロープを見つけてホッとした、がしかし、このロープは途中でちぎれかかっていた。60 メートルロープを



T4 に到着

ほぼいっぱい Fix ロープの支点のボルトに到着。ここでピッチを切った。この先は傾斜のある岩場。引き続きロープをつないで前田さんリードで登る。20 メートル程度登り T2 へ。ここが東稜の取付き。取付きを確認出来て一安心。ロープをつないでのアプローチは面倒だが、落ちたら助からなそうで怖いのでロープをつないで T2～T4 を戻る。

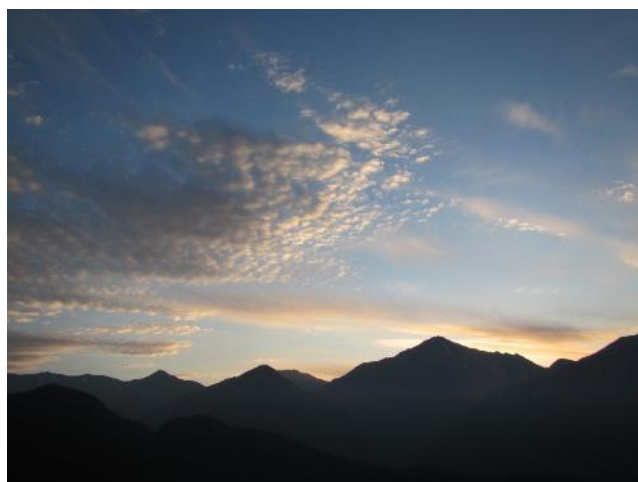
16：40 頃に T4 に帰ってきて、とりあえずビールで乾杯。アプローチの確認をしている最中からブヨが出てきており不快だ。蚊取り線香をたいたりソーセージを焼いたりしてブヨを燻した。効果があったのかどうかかわからないが、ブヨは現れたり消えたりしていて、本日はそんなにブヨに悩まされなかった。少し飲んでから私はストレッチ、今回のストレッチが仕上げになるので念入りに伸ばした。マメにストレッチをしたおかげか、翌日は特に腰の不安を感じないで登れた。

しばらく飲んでからテントを張り、20：00 頃就寝。

6月26日(火)



**T4 出発**



**T2 にて**

3:00 前に起床。身支度を整えているうちに明るくなってきた。4:00T4 出発。昨日と同じようにロープをつないでアプローチ。4:20 頃に T2 到着。フリールート of 1 ピッチ目が我々には不可能であることは、昨日の下見で確認済み。準備を整えてじゃんけん。前田さんの勝ち、1 ピッチ目は前田さんリード。4:40 登攀開始(全ピッチ人工)。

・東稜 1 ピッチ目：前田さんリード

下からルートを眺めていた時は、小ハングを越えた後の支点が遠そうに見えたが、特に問題なさそう。ビレイでは大量のブヨがたかって正常な気持ちではいられない。今後からは虫よけネットを必須装備にしようと思う。ビレイの途中から半身を壁にくっつけてビレイしてみた、すると壁側のブヨはいなくなるので、不快さが軽減した。

前田さんが登り終わって、私も登り始める。見た目が不安な支点もあるが、そんなに悪くない。支点の間隔は遠くなく、わり



**ビレイ**



**クライミング**

とすんなり登れた。

・東稜 2 ピッチ目：松原リード

序盤でフリーに移る部分があって怖く思うが、ホールドはガバガバなのですぐに恐怖心は薄れた。

ここのビレイ点でもブヨに悩まされたそうだが、徐々にブヨは減ったようだ。

・東稜 3 ピッチ目：前田さんリード

もうブヨはいない。前田さんは最初やや左上してから右へトラバース、そしてハングを越えて少し登ったところで終了点。

・4 ピッチ目：松原リード

前半はフリーで後半は A0。途中でルートを迷って左に行きそうになったが、リカバリーできた。終了点はピナクルテラス。広く快適なテラスで、楽な姿勢でビレイできた。

前田さんを迎えて、ここで大休止。

・5 ピッチ目：前田さんリード

最終ピッチ。クライミング中の景色が良い。終了点は岩の樹林帯の入り口にしっかりした残置があるが、もう少し登って樹林帯の中で終了。ビレイ点は木の根。



最終ピッチ、ピナクルテラスからクライミング再開

9:30 に登攀終了。お疲れ様でした。予想よりも早く登り終わったので、心配していた帰りのバスには問題なく間に合いそう。終了点から懸垂下降で同ルートを下降。ビレイ点を目指して右へ右へ狙って下りてゆく。懸垂を 3 ピッチか 4 ピッチ(よく覚えていない)で T2 に 10:15 頃到着。T4 帰着は 10:40。ブヨが再び現れたが、大した数ではなくあまり気にならなかった。荷物を整理していると、大量の水が余っていることに気づいた。ここで初めて持参した水の量を間違えたことに気付いた。6 リッターほど捨てることになってしまった。一人 3 キロ分、これがなければ、もしかしたら T4 尾根をもう少しスムーズに登れて、昨日のうちに東稜・本日は雲稜と 2 本のトライができたかもしれない。実際はどうだったかわからないが、悔しい。後悔し始めると、他にも思い当たる重荷の原因が頭に浮かんでくる。今後はもっと軽量化に努めようと思った。

なんにしても、当初の計画通りに東稜を登れてよかった。気持ちを切り替えて T4 尾根を懸垂下降しにかかる。T4 尾根の懸垂下降は



東稜を懸垂下降

3 ピッチ。下降を終えて岩と雪渓に挟まれた地面に降り立つとひんやり涼しくて気持ち良い。ハーネスを外してすべての道具を片付けてさっぱりした。ゆっくりルンゼを下って、渡渉。水量は昨日同様。暑い陽気だったが水はとても冷たくて、渡渉はやはり辛かった。

あとは特に急ぐ必要もなく、のんびりと一般道。13：10 横尾、14：00 徳沢園、16：00 上高地バスターミナル。

バスに乗って沢渡駐車場へ。帰りの高速の途中、諏訪湖 SA で入浴してから帰葉した。



**渡渉**